



余建農発第 437 号
平成20年10月7日

国土交通省道路局長 様

余呉町長 二矢秀雄

今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件について別紙のとおり報告します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

滋賀県 余呉町

- ・ 地方部は日常生活における移動手段として自動車に依存しており、急勾配や急カーブ、道路幅員が狭小な部分があり自動車のスムーズな走行に影響を及ぼしている。また広域的な産業、経済、文化の交流など安心して生活でき活性化が図れる地域社会を形成するにあたり、生活幹線道路のネットワークは不可欠である。地方部、山間部の道路の整備を早急に行うよう要望します。
- ・ 地震、集中豪雨、豪雪などの自然災害に対し、住民の安全で安心な暮らしを守るため、生活幹線道路において防災対策、雪崩対策を講ずると共に緊急輸送道路の確保も不可欠である。特に地方部、山間部に目を向け道路整備の推進を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②—1 地域の現状と抱える問題点

滋賀県 余呉町

○現状

国道365号は石川県加賀市を起点とし福井県越前市、南越前町、滋賀県余呉町、木之本町、高月町を經由して三重県四日市市にいたる北陸・近畿・中部圏など都市と地方を結ぶ生活幹線道路である。しかしながら福井・滋賀県境付近の道路はいまだ改良が為されておらず、幅員が狭小で屈曲甚だしく、勾配の急な「栃ノ木峠」と「椿坂峠」を擁しており、特に冬期は大量の降雪に阻まれ、毎年12月1日から3月31日までの冬期間通行止めが常態化し交通が遮断されるなど道路利用者および地域住民の利便性、快適性が損なわれている。

当町（国道365号）と福井県敦賀市（国道8号）を結ぶ県道につきましても、幅員が狭小で大型車両の通行できない1車線のトンネルであるため、交互通行を余儀なくされている。

○課題

道路の通過交通量は年々増大し、通行車両は大型化しこの道路に対する依存度は高くなってきている。しかしながら山岳地帯の道路であり、改良には事業費、工法、工期等において問題は多い。

災害、冬期間など北陸自動車道及び国道8号が通行止め等になれば通行できる緊急輸送道路としての機能が現状では発揮できない。

幅員が狭小で大型車両の通行できない1車線のトンネルであるため、交互通行を余儀なくされている。

特に冬期間、北陸自動車道、国道8号が積雪等で止まった場合、緊急迂回路としての機能が発揮されない。

②-2 地域の目指すべき将来像

滋賀県 余呉町

国道365号が整備されることにより、毎年4ヶ月間（12月1日から3月31日）にわたる通行止めも解除され、多くの車両が通行できるようになり、北陸地方と中京、京阪神地方との産業、経済、文化の交流はもちろん活力ある地域社会の形成、良好な生活環境の創造、地域の産業経済の発展が図れる。

また、道路利用者および地域住民の利便性、快適性、産業、経済、文化の交流に欠かせない道路であり、また、災害時の緊急輸送道路として寄与することができる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

滋賀県 余呉町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・多雪地域であり幅員が狭小で屈曲甚だしい、勾配の急な山間地にある道路を、トンネル、橋梁などで整備する。 ・二つの異なった路線を結ぶ道路の整備をする。	・冬期の円滑な交通を確保することにより、多くの車両が通行できるようになれば、限界集落と言われるところも活力ある地域社会の形成、良好な生活環境の創造、地域の産業経済の発展が図れる。 また、災害時等の緊急輸送道路として活用が図られる。 ・広域交流を促進し、沿線住民の産業、経済、文化の交流が図られることにより、地域活性が図られる。 また、災害時等の緊急輸送道路として活用が図られる。	